

1、連絡事項（議案書提案内容の確認）

- ① 5月3日予定していた運動会は中止
- ② 総会議案書（抜粋版：2019年度会計報告、2020年度活動予定、2020年度予算案、会則改定）に関するご意見はメールにて受付（4月30日締切）
 - ※ 総会議案書は2019年度のまとめ（2019年度運営委員会の皆さんと決めてきたこと）です。ここで新たに提案いただくものではございません。
 - ※ 4月30日までにご意見をまとめるのが難しい場合は、その旨ご連絡いただきたい。
- ③ 総会は6月7日（日）10:00～（ビデオ会議の予定）
 - ※ 区の施設予約ができない状態。Web会議で開催できればと思っておりますが、参加予定者の準備が間に合わないようなことがあれば延期の検討必要。
- ④ ぶんこうけん・絵画コンクール（2月23日）開催報告
絵画コンクールのアンコール展示はできていないが、何らかのかたちで開催できればと思っている。

2、交流

- ① 母会の次年度に向けての移行、役員会でのコミュニケーション、次年度の役員決定状況など

（久堅育成室）

父母会は開催できていない。役員2年生以上は決定、1年生未定。会長等は決まっている。父母会内での情報共有等については、メーリングリストでやり取りを行っている。個別にメールでの対応になってしまっている。

（千石第一・第二育成室）

父母会は全く機能していない。役員は決まっていない。アンケートは取っているが、大所帯なので集計もままならない。会長・副会長も決まっていない。この状況で別の方に会長職を託すのはどうかと思っている。もう1年再任することも考えている。GW明けには決定したいと思う。

(向丘育成室)

保護者会中止。お祝い会も延期。交流がなくて状況がわからない状態。
お弁当発注 LINE グループで保護者の声が少し聞こえてくるぐらい。
3年生は顔を合わせることなく卒室になってしまった。役員は前回の会議である程度決定しているが、1年生の保護者の顔合わせできおらず、1年生の役員は決まっていない。

(向丘育成室 越野)

1年生をメーリングリストに追加する作業ができていない。
全体向けの情報発信ができていないという状況。

(大塚小育成室)

新2年生・新3年生の役員や係は2月の時点で決定している。
年度初めの父母会が中止になって新1年生の役員や係が決まっていない状況。
メーリングリストは機能している。
大塚小の父母会も zoom で開催できないか検討している。
卒室お祝い会は先生方のご厚意で卒室生と卒室生の保護者のみで開催できた。最小限のかたちでも開催できたことはすごく有り難かった。

(本郷第一育成室)

Slack を利用していて、コミュニケーションは取れている。
三役は決まっている。新2年生・新3年生もだいたい決まっているが、まだ決定していない。新1年生も Slack にほぼ参加しているようですが、やり取りはできていない。

(本駒込育成室)

全く父母会が機能できていない。新1年生のメーリングリスト登録が進んでいない状態。
全体への連絡ができない。係決め・役員決めは5月にずれ込むかなという状況。

(茗台育成室)

1年生のメーリングリスト登録や1年生から3年生の役員決めは完了している。
前会長と会長のリーダーシップのおかげだと感じている。
メーリングリスト& Stock を利用し、情報交換・連絡をしている。

(茗台育成室)

1年生の入室説明会を予定通り3月13日に行った。
係の説明をし、その場でアンケートもお願いした。メーリングリストでアンケートの結果を展開。4月20日までにご意見がなければ役員・係は決まる予定。

(目白台育成室)

父母会は開催していないが、役員・副会長は決定している。1年生の担当も決まっていると思う。卒室お祝い会は当時の3年生と3年生の保護者と先生で開催した。意思疎通はできていないがメーリングリストを活用する体制はあるので何かあれば対応できると思う。

(三中育成室)

4月は活動できていない。3月の集まりで三役は決まった。それ以外は決まっていない。新1年生との顔合わせもできていない。メーリングリストも2年生3年生のみ登録されている。3月中に卒室お祝い会は開けたけど、小さい集まりで実施した。

(白山東育成室)

今年の2月に父母会開催し、新2年生3年生の役員は決まった。1年生の担当は決まっていない。連絡手段はLINEを使っている。1年生がグループに入っているかどうか把握できていない。

(駒本育成室)

新役員の会長・副会長・会計・協議会は決まっている。3月中旬からのスケジュールはすべてキャンセルになっている。1年生の名前のリストはあるが、顔がわかからない状態。父母会のメーリングリストがあり、1年生の登録も徐々に進んでいる。役員以外の役割等はアンケートをとって集計中。駒本育成室への登室は毎日数名。自宅で子どもを見ながら仕事をしている家庭がほとんどなんだろうと思う。

(窪町育成室)

2・3年生の役員は決まっている。1年生の係決めは課題となっている。ほとんど決まっていない状況。説明会のときに共有ツールとしてオープンチャットのQRコード渡して入ってもらうように促したが、なかなか入ってもらえてなく、コミュニケーションが難しい状況。7月予定のキャンプは延期、できれば9月とか秋にできないかな？ということで話を進めている。

(窪町育成室)

キャンプ係：泊まりのキャンプを止めて、時期をみてデイキャンプにできないか考えている。

(駕籠町育成室)

2年生・3年生の役員は決まっているが、1年生が決まっていない状況。

1年生のメールアドレスはもらっていて、連絡はできるが止まっている状況。

(目白台第二育成室)

昨年度のうちに Web 決議ができるように会則を改定した。

期せずして会則の改定ができていたので、昨年度の最終総会と4月の初回総会は Google フォームを使った Web 決議を行い、完了している状況。

役員は1月に三役(会長・副会長1名ずつ)と新2年生を集めて茶話会を行い、Web あみだくじにて会長・副会長1名ずつの2名、2年生のレク係3名と運動会係2名をその場で決定した。それを3月の総会(Web)で承認をした。

1年生と3年生は各イベントの事前・当日・事後の準備は参加者が原則全員参加するとし、固定の委員会を置かないというかたちで行っている。

2年生だけは固定の係があるが、1年生と3年生は都度のイベントに参加になります。

運動会の係2名は2年生から選出していたが、運動会が中止になったため、Tシャツ係と長期休暇のお弁当発注係に担当を変更し、昨日の総会で承認された。

メーリングリストも機能している。オヤツ代と会費の徴収も全員分完了している。

(柳町第二育成室)

役員は全部決まっていて、各係の引継ぎを行っているところ。

そろそろ役員同士のコミュニケーションを取り始めようかなと思っていたところ。

② 行事予定など(キャンプ・運動会の代わりなど)

(向丘育成室)

キャンプは7月連休に行っているが、今年のキャンプについては3月からキャンプ係で議論している。一旦5月まで様子を見ることになっているが、状況から考えると7月は無理かなと思っています。毎年、海の日にキャンプを行っていたが、今年はオリンピックの影響があったため、時期について2月の父母会の時にアンケートを取っていた。

(夏休み中? シルバーウィーク?) どこでも大丈夫そうという回答だった。

中止ではなく夏休みか秋の連休でできたらと個人的に思っている。

キャンプは色んな親子が関わる行事。学童保育の良いところをぎゅっと凝縮したイベントなので、規模を縮小してでも行けるといいなと思っています。

(茗台育成室)

9月にキャンプ仮予約していたが、キャンセルを決定した。
施設の予約キャンセル期限もあり、4月中旬で中止を決めた。
状況によってですが、日帰りキャンプができればやりたい。
来年の施設予約はコロナの終息目処が立ったところで行う予定。

(駒本育成室)

昨年のキャンプが台風19号でキャンセルになってしまったため、1年生のキャンプ体験がない状態で今年度を迎えた。
キャンプをやれるなら5月ぐらいがいいのではという話もあったが、12月に意向のアンケートを取った結果、体験がないこともあり、キャンプに行きたい方が少なく、日帰りにして欲しいとか、父母会主催のイベントは少なくしてほしいという消極的な意見があった。それを踏まえて今年度キャンプを行う案がなく、日帰りですでできたらと考えている。

(柳町第二育成室)

昨年の担当と引継ぎ簡単にしている。7月23日~7月24日で民宿を仮予約している。
民宿のキャンセル期限が6月末。現在、キャンプをどうするか(ウインターキャンプにするか?等含め)アンケートを取っている。5月中旬にどうするかを決定する。

(指導員：高橋先生)

3月の対応と4月の対応変わっている。

3月：育成室を開けている。利用の自粛をお願いしたい。

4月：閉室を前提とし、必要な方のみ保育を行う。

東京23区は同じかたちで動いている。

「基本的には閉室、必要な方については保育する」という考え方は同等。

「保育を必要とする」の考え方：

- ・医療従事者など職種を限定している区もある。
- ・葛飾区は職種限定。さらに保護者の職場に対しても自宅勤務ができないか要請文を出している。
- ・文京区は特に限定していない。

文京区は閉室を前提にはしているが保育が必要な子どもについては保育を行うということで、ほとんどの育成室が5~6名、10名を超える受け入れをしているところも数ヶ所ある。
時間帯は必ず18:30までではなく、17:00とか17:30までのところもある。
指導員は保育が終わるとそれ以降は出勤調整ということで帰宅することが認められている。

3月からこの状態が続いていて、一番かわいそうなのは子どもたち。子どもたちの日常が奪われてきたと思っています。

卒室お祝い会はとても大きな行事で、本駒込育成室でも子どもたちみんな準備をして取り組んできたけど、結果的には3年生と3年生の保護者のみということで限定するかたちでしか開催できなかった。

遊び場もきちんと確保されていない等、色んなところで歪がでていて、育成室に通えている子もいれば、通えていない子どももいる。

学校の中に併設されている育成室は、校庭を使うことが認められているんだけど、学校の方で居場所を確保ということで一定数子ども受け入れ、学校内で自習をしている子どももいることから、現場の指導員は気兼ねをしてしまったり、悩みながら、葛藤しながら保育を続けている状態。

保護者の皆さんにもご協力をいただいて、お休みをしているご家庭も多いと思う。子どもも指導員も保護者の皆さんもストレスを抱えている状態だと思う。

この状況は東日本大震災の時とよく似ている。先行きがはっきりしない中での不安感・閉塞感の中に身を置く辛さ。子どもたちも指導員も心が疲弊している状態が見受けられる。

宮城女子学院 畑山先生（全国学童保育研究集会「分科会：災害と学童保育」の助言者となっている先生）からのメッセージを紹介

学童保育指導員の皆様へ

今回の新型コロナ・ウィルス禍の心配から、政府の突然の全国の小中学校一斉休校指示の直撃を受けたのが学童保育だったと思います。保護者の要望から長期休暇中と同じ時間帯の開設を求められた学童保育も多かったと思います。そしてそれに対応できる学童保育指導員の確保が難しい自治体の話も聞こえてきます。このような状況下でも、多くの学童保育指導員の方々は、子どもたちと保護者のために頑張っておられることと思います。このような時期に、指導員の方々に気を付けて子どもに対応していただきたいことを挙げてみます。

学童保育室では基本的に毎日決まった日課を設けていると思います。この時期もできるだけ平常時の開設期間と同じように、子どもたちの普段の生活リズムを保つように努めましょう。そしてその日課の中で、それぞれの子どもの役割があって、誰かの役に立つ生活ができ、本人もそれを実感できるようにしましょう。

そして、指導員はできるだけひとり一人の子どもと会話をするようにしましょう。子どもに禁止や命令口調のことば掛けばかりするのではなく、子どもの話をていねいに聞き、気持ちを受け止め、必要に応じて子どもに分かるように説明することが大事です。ただしこの時期、新型コロナ・ウィルスの話題をただ不安をかき立てるように話すことは控え、適切な防御と対応の仕方を教えるようにしましょう。

子どもにとって、遊びは勉強と同等あるいはそれ以上に大事なことです。体を動かして楽しく遊ぶ時間を確保しましょう。閉じ込められたような生活が続くと、子どもは発散の場を求めて他者に攻撃的になり、危険な行動をとることが多くなります。目が離せなくなり、監視と叱責ばかりが多くなるような状況になることが心配されます。できれば指導員も参加して、ドッジボールや縄跳びなど、楽しい運動遊びを一緒に楽しむのが望ましいと思います。

保護者には、お迎え時や連絡帳で子どもたちの様子をほめることを中心に伝えるようにしましょう。家でのテレビゲーム漬けなどは、人との関わり形成の機会を奪い、青年期の引きこもりにつながりかねません。家族団らんの時間を大切にしてほしいと願っています。

指導員は、長時間の勤務などで疲れてくると、つい叱ることが多くなり、子どもたちとの関係も悪化しがちです。セルフケアも大事です。少しの時間でも自分のための時間を持つようにしましょう。そして仕事と家庭生活の気持ちの切り替えをきちんとしましょう。

子どもは、安心できる大人と一緒にいることが何よりの安心感につながります。指導員の方々が笑顔で子どもたちに向き合い、子どもたちの心の成長を支援して下さるよう願っています。 — 自分にやさしく、他者にもやさしく！ —

2020年4月3日

「ケア宮城」代表 畑山みさ子（宮城学院女子大学名誉教授）

- ・子どもたちの生活リズムを大切にすること。
- ・指導員はできるだけ一人ひとりの子どもと会話をすること。
- ・子どもにとっての遊びは、勉強と同等あるいはそれ以上に大事なことです。
- ・保護者にはお迎え時や連絡帳で子どもたちの様子をほめることを中心に伝えること。
- ・子どもは安心できる大人と一緒にいることが何よりの安心感につながる。
- ・指導員の方々が笑顔で子どもたちに向き合い、子どもたちの心の成長を支援して下さるよう願っています。 — 自分にやさしく、他者にもやさしく！ —

指導員向けのメッセージですが、保護者の皆さんへのメッセージとしても読むことができると思う。

4月7日の朝日新聞（宮城版）畑山先生の記事を紹介

- ・子どもとゆったり話す時間を作って子どもの気持ちを受け止めて欲しい。
- ・子どもの不安や恐れは安心できる大人がそばにいて、安心できる経験を重ねることで和らいでいく。

こういう時だからこそ、子どもたちにどうやって安心感を与えていくことができるのか、日々の保育の中で考えながらやっている。現場実践で言うと、私のところでは、週1回でお便りを発行している。4月1日に第1号を発行（子どもの紹介・班の紹介）、子どもたちの

生活の様子ということで、4月6日に第2号を発行し、子どもたちの様子を保護者に伝えようということで緊急的に4月9日もお便りを発行した。

子どもたちが育成室でどのように過ごしているのか伝えることは大事なことと改めて受け止めている。

今後は心のケアをどうするかが大きな課題になってくる。学校は3月から休校が続いている状態で、5月の連休明けに学校が再開したとしても、学校に足が向かない子がいるんじゃないか？心配している。育成室の中で子どもたちがどのように過ごしていくのか？

本来は4月中に新1年生・2年生・3年生の中で少しずつ関係性を作っていく時期。これが実質1ヶ月遅れて5月に関係性を作られていく。ここは現場としても丁寧に見ていきたいと思う。

学習の遅れをどのように取り戻すのか？課題になってくると学校はかなり駆け足で進むことが考えられる。その先の夏休みもあるかないかよくわからない。引き続き子どもの心のケアは考えていきたいと思っている。心のケアについては子どもだけでなく、指導員・保護者の皆さんも必要だと思う。父母会再開の際にはこの間の状況について短い時間でも構わないから、交流の時間設けた方がいい。

自覚のない疲れもある。それを子どもは敏感に感じる。心に溜めたものはどこかで吐き出すことが必要。父母会が力を発揮できればと思う。

③ この間のお子さんの様子（どう過ごしていたかなど）

(Tさん)

4月に入って医療従事者以外は受け入れないと言われ、半分在宅勤務している。

子どもは休みを取っているが、休みに入ってから2日に1回暴れている。

子どもにとって育成室は自分が自分でいられる場所であって、体が動かせる場所、友達と楽しく遊べる場所で、生活の中心となっていた。今はそれが全て奪われてしまっている。

1人で外出させることもできない。公園にも子どもが沢山いるところにも行かせられない。私は家にはいるけど、仕事があるので24時間子どもにくっついて歩くわけにもいかず、結果、家に閉じ込めるようになりストレスを抱えている。

遊んであげられるときは1日楽しく過ごせることもあるが、子どもにとって今の状況は本当に最悪なんだと思う。みんな同じ状況だとわかっているけれども、状況を受け入れられない子にとっては最悪です。家の中も最悪です。良いことは一つもないかな？という感じ。

(Uさん)

子どもはテレビに向かってオンライン空手やっている。ハイハイハイとか。

整理整頓は無視して自由に遊ばせている。

④ 閉室後に育成室に通っている方はどれくらい？状況は？

(籠駕町育成室)

毎日2名～3名登室している。

ワンオペ(単身赴任)で子どもが2人いることや基本は在宅勤務ではあるが、外出して仕事をすることもあり、医療従事者ではないが週に2～3回預けている。

子どもが全く家にいないといけないわけでもなく、育成室にも行けるということで、バランスは取れている。

仕事に集中できる日が週に2～3回でもできるので、とても有難い。医療関係者以外は預けていいのかな？子どもも心配だし、先生にも申し訳ないし・・・

本当は預けたいけど遠慮してしまう人も多いのではないかなと思う。

お弁当は持ち込み。

(茗台育成室)

医療従事者はないが休めない業種なので預けている。先生と相談して、茗台育成室で預けるのがうちの子もだけという日が来週1日ある。そこは1日会社を休んで、育成室を休みにしてもらうことにした。他の日は選択肢がないので、預かってもらうことになっている。

お弁当は持ち込み。

(指導員：高橋先生)

前提として閉室する。保育が必要な方に関しては申請を出していただく。

申請を出していただくことで、保育をするというのが文京区の基本スタンス。

申請書は保育が必要な理由も書くことになっている。

職種を限定の認識はない。先ほどのTさんの話、これについては確認してみたいと思う。

(指導員：平出先生)

4月10日を最後に出勤していない。多い時でも登室は4人なので、正規の先生でまわっていて、非常勤は出勤していない状態。

「なんか楽しいことしたいね」と指導員の先生も子どもの心のケアをしながら、工夫して保育をしている状態でしたが、今は出勤していないので現状はわかりません。先ほど高橋先生からもお話があったように正規の職員の方も保育が16時、17時で終わった時には帰宅する、なるべくローテーションを組んで少しでも休息が取れるようにまわっていると聞いている。

3月中は人数も多くて「イエーイ休みだ」と楽しんでいて、1週間もすると飽きて勉強をしたいとは一言も言わなかったが、学校に行きたいと言っていた。いつまで続くんだろうと不安になっていると思う。

3、最後に

(役員：山口)

どこで学期が始まるか分からないが、遅れた分を取り戻さなければならないということを先生も親も考えると思う。どうしてもタスク達成的な発想でスタートを切ると思うが、子どもはそうは思わない。大人に言われたことに必死に付いて行こうとするかもしれないが、タスク達成だけでなく、子どもの今を見るということを心がけたいと思った。

(役員：越野)

今後の見通しについてもわからない状況なので、お知らせが直前になるかもしれない。今後ともご協力をお願いしたい。

色んな活動が制限され、今後もしばらく続きそうな状況だけど、子どもたちができるだけ普段の生活に近い形で生活をしていけるよう我々大人が環境を守っていくための活動は続けていなければならぬと思う。

保護者が育成室というものがどういうものなのかを理解して、それを守っていくための活動を地道にでも続けて行かないと育成室の環境は守っていけないものなので、そのことをご理解いただいて、父母会の活動は細々でも構いませんので、続けていただければと思う。父母会の皆さんには 2020 年度もご協力いただけるようお願いしたい。